



伊原間中だより

第6号 令和2年9月30日

〈基本目標〉

心豊かに、たくましく生きる
北部健児



石垣市立伊原間中学校
発行：仲吉 永克（校長）
編集：玉代勢香織（教頭）
☎ 89-2141
fax89-2244

具体
目標

- 主体的に学習し考える力のある生徒
- 自他を尊び思いやりのある生徒
- 健康で、根気強くたくましい生徒

校訓

勤勉

誠実

躍進

食欲の秋、スポーツの秋

校長 仲吉 永克

爽やかな10月、朝夕少しずつ過ごしやすい季節となってまいりました。「食欲の秋」「スポーツの秋」、秋は何をすることにおいても快適な季節になりました。

特に、今月は、食欲の秋、そしてスポーツの秋に重点をおき、食事と運動どちらが欠けても、丈夫な体をつくることはできません。健康のために大切な栄養を体に補給し、運動をして体を鍛えることが大切です。中学生は成長が著しく、体格などの個人差も大きい時期に入ります。運動するからといって、特別な食事をとらなければいけないのではなく、食品を上手に組み合わせた食事を毎日とることが大切です。栄養が不足した状態で運動をすると体に影響がでます。例えば、朝食を食べないで、運動していると十分な力が発揮できません。また、カルシウムが多く含まれる食品をたくさん食べても、運動をしなければ丈夫な骨はつくられません。栄養バランスの良い食事の積み重ねは運動をする人にとって、なくてはならないものです。では運動のために必要な食べ物とは、タンパク質やカルシウムを摂りましょう。水分を補給しましょう。3度の食事をしっかり摂りましょう。鉄分も忘れずに摂りましょう。偏食をせず、丈夫な体をつくるようご家庭での食育をお願い申し上げます。

さて、学校では炎天下の中で平均3km以上走り続けてきた持久走練習も後半に入りました。今週3日開催の八重山中学校駅伝競走大会を迎えます。本校から男子Aチーム主将の根本環大さん

以下選手6名、男子Bチーム主将の高橋琉太さん以下選手6名の2チームが20km6区間を走ります。そして、女子Aチーム主将の又吉琉花さん以下選手5名が12km5区間を走ります。各チームの目標タイムは、男子Aチーム1時間11分4秒以内、男子Bチーム1時間18分以内、女子Aチーム49分9秒以内でたすきをつなぎゴールを目指します。学校代表になった選手は上位入賞及び自己記録への挑戦と学校代表の名誉を背負って頑張ってくれるものと思います。是非、保護者の皆様には沿道からの応援して頂きますようお願いいたします。

また、18日には石P連主催の意見発表大会が開催され、本校から砂川生羽さんが学校代表として「つなげよう私から世界へ」の題で発表します。会場は白保中学校で開催されます。全力で発表してくれると期待できますので、こちらの方も是非多くの皆様の応援を会場から宜しく願います。

再度、連絡になりますが10月8日16時から保護者対象に、今年度の部活動の一部見直しの経緯と、今年度の学力向上対策等について説明会を開催します。この日は朝から授業参観日になっております。お仕事に調整ができれば、是非参加していただき、今年度の学校運営等について保護者の視点から学校側との意見交換ができれば幸いです。

結びに職員の入替えに伴う紹介を致します。これまで、1年～3年までの英語教科担当をして頂いた島袋千枝先生は、10/1日より石垣市立教育研究所で中学校英語科の半年間の研修に入ります。その間の代わりに与那国真子先生が着任します。与那国先生は平得出身で高校英語科専門の先生です。幼小中高校と石垣島で過ごし、中高校の頃から勉強と部活動で頑張ってきた生徒たちの先輩になります。

保護者の皆様におかれましては、新職員を含め、今学期後半も職員一同伊原間中の生徒達のために頑張ります。



1年生：外来生物会議：これまで学んできた事をまとめ、小学校への出前授業でどのように伝えるかグループで話しあいました。



八重高体験入学



八重農体験入学



地震津波避難訓練：ハンナ岳まで避難しました。



男子最優秀賞 当山さん



女子最優秀賞 砂川さん



5名の学級代表の皆さん



文化祭オリエンテーション



〈10月の主な行事〉



日	曜	行 事	下校時刻	回り
1	木	全校朝会（新職員紹介）ALT 来校 SC 来校	18:30	伊野田
2	金	選手激励会・英検②	18:30	野底
3	土	地区駅伝競走大会		
5	月	振替休日		
6	火	全校朝会		伊野田
7	水	部活動停止～14日	15:20	野底
8	木	基礎力テスト（国数英）授業参観	17:00	野底
9	金	北ノノ集会・三高校説明会	17:00	野底
14	水	中間テスト	17:00	野底
15	木	中間テスト・SC 来校	18:30	伊野田
16	金	人権を考える日	18:30	野底
17	土	数検		
20	火	3年市学力調査	18:30	伊野田
21	水	3年市学力調査	15:20	野底
22	木	SC 来校	18:30	伊野田
27	火	組踊りワークショップ	18:30	伊野田
28	水	校内研 研究授業（2年体育）	15:20	野底
29	木	ALT 来校	18:30	伊野田
30	金	校長講話 漢検	18:30	野底

令和2年度意見発表大会学校代表に 砂川生羽さん！！

令和2年度校内意見発表会が行われ、下記の皆さんが学年代表として発表しました。成績は以下の通りです。

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、県P大会が中止となり、石P大会、八P大会のみ開催となりました。さらに、例年は男女各1名選出ですが、本年度は学校代表1名の出場となりました。

生羽さんは、伊原間中学校代表として10月18日に行われる石P大会に出場します！

男子の部

最優秀賞 1年 當山 愛士

優秀賞 2年 小池 凜

女子の部

最優秀賞 2年 砂川 生羽

優秀賞 3年 竹原 瑚子 1年 平良 聖麗

八重山地区駅伝競走大会

日時 令和2年10月3日（土）

場所 陸上競技場周辺

時間 女子スタート・・・ 9:00

男子スタート・・・10:10

女子補員レース・・・11:50

男子補員レース・・・12:05

SB・・・9/24 付で配布したお知らせをご確認下さい。

10月のスクールバス下校時刻 18:30

～文化面で頑張っている皆さんの紹介です～

令和2年度「石垣市市長杯英語スピーチコンテスト」・・・3年 砂川 さくら 3年 竹原 瑚子

令和2年度「校内意見発表大会 最優秀賞」・・・1年 當山 愛士 2年 砂川 生羽



Appreciate Life

Ibaruma Junior High School
Sakura Sunagawa

The COVID-19 pandemic has shaken the globe. Although it has not spread in Japan at an explosive rate, the central government declared a state of emergency from April 7 to May 25, requesting lockdown and restriction on traveling. Golden Week travel plans have been squashed, it has become [‘Stay-at-Home-Week’](#).

On May 6th was an unforgettable day for me, too. That morning, my grandmother passed away in Mainland Okinawa. I couldn't visit her in the hospital or even attend her funeral. Without my grandmother's image, the bone fragment and ashes was brought back in enclosed vase after the cremation. I wished to hold her hands and embrace her with farewell. Only my father, aunt and uncle attended the funeral. At that time, my father couldn't attend my brother's School Entrance Ceremony. We accept this incident with naturalness of being together as family. However, knowing how sorrowful and grievous those people who lost their lives or their loves one during coronavirus pandemic, has taught me to live with appreciation. A self-restraint period also gave me the opportunity to think about the importance of life. Learning to value the small things, talking to family and friends, something we all are doing now, but often gets neglected in everyday life. Let's live in the present and do not take experiences for granted.

COVID-19は、世界中を震撼させました。日本では爆発的な拡大はありませんが政府は4月7日から5月27日までの間、緊急事態宣言を出し、外出自粛要請や旅行を制限しました。ゴールデンウィークの旅行は無くなり、「ステイホームウィーク」になってしまいました。5月6日もまた、私にとって忘れられない日となりました。私の祖母はその日沖縄本島で亡くなりました。私は病院に行くことも、葬式に参列することも出来ませんでした。私は祖母の手を握り、別れを告げて抱きしめたかったが彼女の姿を見ることもなく、骨壺に入って帰ってきました。私の父、叔母、叔父だけが葬式に参列しました。その時、父は私の弟の入学式に参加することが出来ませんでした。私たちは家族と一緒にいることが当たり前だと思っていました。しかしながら、コロナウイルスのパンデミックの間に、愛する人を失うことの悲しみを知ることで、生きていることへの感謝を学びました。自粛期間は、命の大切さを与えてくれる機会となりました。今、起きていることに対し、家族や友人と話し、小さなことに価値を見出すことはしばしば忘れられています。当たり前を疎かにせず今を生きよう。

日頃より子ども達の健康管理ありがとうございます。引き続き「新しい生活様式」の実践を宜しくお願いします。





Spirit of Mutual Aid

Ibaruma Junior High School
Koko Takehara

Apart from Mainland China. Japan receives a high number of visitors from coronavirus-affected countries including South Korea, Taiwan, Hong Kong, Thailand, Singapore, Malaysia, and the Philippines. Tour cancellations from these countries are expected to cause a significant drop in foreign visitors to Japan this year.

Ishigaki Island where I live is always crowded with tourists, too. The tourism industry was flourishing for the past few years. The rapid spread of coronavirus has had a major impact on tourism industry and global shipping markets.

My parents' business in sea grapes, a prefectural product of Okinawa, have faced great trouble in shipping destinations. Due to the decrease of tourists and lockdown, their income has reduced badly. On the other hand, local products like, Ishigaki beef, tuna and shrimp were sold cheaper than usual because of delivery problems to the mainland.

However, we the islanders were able to buy and enjoy eating these food that are not normally easy for us to get. I could feel the spirit of mutual aid in our society. With COVID-19 sharpening our awareness, we have an opportunity and responsibility to improve our social systems to better our life.

From now on, as third graders, we will create a caring atmosphere in our school. Nobody needs to be alone. *We'll get through this together.*

中国本土のみならず、韓国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシアやフィリピンなどのコロナウイルス感染国からたくさんの方の旅行客が日本を訪れています。今年、これらの国からの旅行のキャンセルが増え、日本を訪れる観光客数は大幅に減少すると思います。

私の住む石垣島はいつもたくさん観光客がいます。ここ数年間で観光産業は年々繁栄してきました。コロナウイルスの急速な拡大は世界中の観光産業や配送行に大きな影響を与えました。

私の両親は沖縄の県産品である海ブドウの商売をしていますが観光客の減少やロックダウンの影響で大きな問題に直面し、収入が大幅に減少しています。一方で、本土に配送できなくなった石垣牛やマグロ、エビなどの地元産品が通常より安く売られるようになりました。

しかし、私たち島の人々が普段では簡単に変えないような食べ物を食べることが出来ました。このことから社会の相互支援を感じるようになりました。COVID-19は意識を高めることで社会を改善し、より良くする機会を与えてくれると思います。

これから、3年生として気遣いを持ち、誰も一人にせずみんなで乗り越えていく雰囲気を作っていきたいです。

本当の挨拶

石垣市立伊原間中学校 一学年 當山愛士

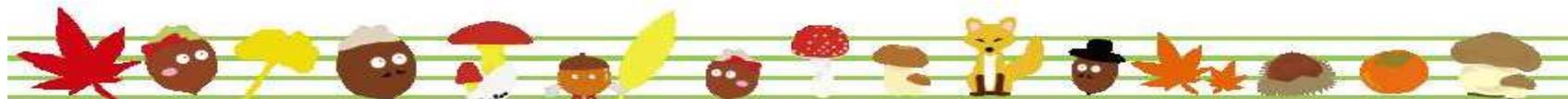
「おはようございます」「こんにちは」

皆さんにとって挨拶とはどのようなものですか。日常何気なく行っている「挨拶」について興味をもって考えたことはありますか。大人達が「挨拶は大切だよ」と言いますが、どのような意味があるのかを考えないとその挨拶に気持ちを込めていくことは出来ないだろう。そんな日々日常的に行っている挨拶についてももう一度考え直してみた。

僕は、小学校の頃、挨拶が少なかったことを踏まえ、児童会活動の一環として、挨拶運動を提案し実施した。その運動は、学校全体が挨拶であふれるのを目標に行っていた。しかし、学校が挨拶であふれることはなかった。正直僕もそこまで深く考えたことはなかった。先生方に何度も促されて挨拶をする生徒の多くは「自分は挨拶をした」という反応だった。確かに、ただ応答するだけならば言葉としての「おはようございます」や「こんにちは」として存在するだろう。そしてそれは単なる言葉としてであって相手に伝わるということを意識していない。ただ伝えているだけである。しかし挨拶で重要なのは相手に伝えることではなく伝わることだと思う。挨拶は、一日の中で一番最初にする会話だ。その挨拶が暗いものなら、相手も自分も一日は暗いスタートになる。逆にその挨拶が明るいものだと相手も自分も一日は明るいスタートとなる。朝の挨拶から、その朝の気分や体調がすぐに分かる。僕たち伊原間地域では、僕が登校する時に「おはよう。元気か。今日も頑張れよ」と笑顔で挨拶してくれる。「おはよう」だけではなく、一言がプラスされその後の会話が続くのである。そしてその挨拶から会話が発展する。きっとこのことを児童に伝えていけば、形式だけの挨拶ではなく、笑顔で先手必勝の挨拶であふれた学校に近づいていたのかもしれない。このように挨拶には、一日を左右する力がある。また、挨拶はコミュニケーションを取る時に大切になる。僕が四年生の時に、色々なチームと合同で練習する機会があった。周りは親しみのない人ばかりで僕はぼつんとしていた。そんな時、友達になりたいと思い最初にかけた言葉が「こんにちは」つまり挨拶だった。何気ない一言でも挨拶をきっかけにバスケの話なども出来、会話が進むようになり僕と彼の仲は深まった。このように挨拶には、コミュニケーションを取り、人と人を結びつける力がある。この経験を通し、僕は先手必勝の挨拶を心がけるようになった。

このように、僕が生活している中で様々な場面で挨拶の持っている力について感じてきた。挨拶はコミュニケーションを取り、人と人を結びつける力があること。挨拶を元気よくすることで、良いことしか待っていない。一人一人が挨拶に対する意識を持ち、皆が自分から伝わる挨拶を出来るようにし元気のいい挨拶であふれる学校・地域にしていこう

「おはようございます」「こんにちは」何気ない一言だけど、この一言で自分も人も明るいものになるのかもしれない。



令和2年度石P連意見発表大会学校代表 2年 砂川 生羽



つなげよう私から世界へ

石垣市立伊原間中学校 二学年 砂川生羽

「皆さんは地球環境について考えたことはありますか？」今の世の中は、昔と比べ、様々な点で進化しています。その中でも特に、スマートフォンが身近になったことで通信販売などでより欲しいものが自由に手に入る時代になりました。一方でプラスチック容器や包装資材など「ゴミ」になるものも増えてきた様に感じます。環境問題は今日発生した問題ではなく様々な技術の発達に伴い、昔から問題視されてきましたが、改善されにくい問題として未だに残っています。「ゴミを簡単に捨てる」という行為が悪化させる原因の一つであると思います。誰かがゴミを捨てるとそのゴミは知らないうちに海や道端などに溜まります。

小学生の頃学校の先生と全校生徒で地域の浜のビーチクリーンをしました。美しい真っ白な砂浜を埋め尽くすほどに散乱している漂着ゴミがありました。気が遠くなるほど無数に散らばっており、綺麗になるまでに何時間もかかりました。その中には発砲スチロールやペットボトル、壊れた漁具などがありました。よく見ると、韓国語や中国語で書かれてあるもの、さらにはアメリカやインドネシアから流れ着いたものがあり、小学生だった私は「こんなに遠くの国からのゴミが何故島に沢山あるのだろう」と不思議に思ったのを今でも覚えています。最近家族で同じ浜に行きましたが、漂着ゴミは今もまだ打ち上げられていました。中学生になった今、「海外でも何も考えずにゴミを捨てたり、放っておく人が沢山いるんだ」と理解出来ました。

先日、私がある販売機でジュースを買おうとしていると、販売機の隣に、空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻などのゴミが捨てられていて、沢山積もっていました。人間が勝手な行動をすることで、美しい自然や地球が壊れていく原因を引き起こしているのだと私は強い衝撃を受けました。また、走行中の前の車から、ビニール袋が道に投げ捨てられるのを目にした時、この問題が進んでいるのは、島の人、国内・世界中の人の一人一人の意識が低いからだと考えました。

綺麗な海も道も私達の生活にはとても大切な自然の一部です。生活する中で、ゴミは少しでも減らす努力をしようとその時に自分自身に決意しました。

飲んだ缶をきちんと捨てること、マイバックを利用すること、スマホばかりを見ないで、近くの浜へ散歩に行った時、一つでも二つでも漂着ゴミを拾うように心がけること。観光客や地域の人々が綺麗な海や島の道を歩くとき、私の受けたショックな思いはしないで欲しい。その思いから今日も私は私の出来ることをしていきます。意識は変えられます。

一人から二人、十人、何百人と輪を広げていき、ネットワークを築きあげていく。地域から沖縄県民そして全国へ。一人ひとりが出来る小さなことをつなげ、島の海、世界の海が一つになっていく時、そこに変わる世界があるのではないでしょうか。

第2回
英語検定試験
10月2日(金)

第2回
数学検定試験
10月17日(土)
第2回
漢字検定試験
10月30日(金)



千枝先生、半年間頑張ってきてください！



英語科の島袋千枝先生が10月より石垣市教育研究所へ研修に行かれます。半年間、1年半ありがとうございました。



来年の4月までしばしお別れです。さびしいけれど頑張ります。千枝先生、ありがとうございました。

昨年はインフルエンザの為出場できなかった駅伝大会。ほとんどの皆さんが初出場となります。応援宜しくお願いします。